



平成 28 年 6 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 吉井 史彦  
(コード：2721 東証ジャスダック)  
問合せ先 取締役副社長 森島 雅春  
(TEL. 03-6430-3461)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 2 月 19 日に公表しました平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 28 年 12 月期 通期連結業績予想値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	715	97	94	94	51.16
今回修正予想 (B)	1,495	103	97	111	60.27
増減額 (B - A)	780	6	3	17	—
増減率 (%)	109.1	6.2	3.2	18.1	—
(参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	1,246	18	12	△35	△19.42

## 2. 修正の理由

当社グループは、当社及び連結子会社4社で構成され、当社を持株会社とし、各子会社において「住宅事業」、「スポーツ事業」、「不動産事業」、「Web事業」をそれぞれ展開しております。

今回、「住宅事業」を展開する株式会社イザットハウス（以下、「IZ社」といいます。）の子会社株式・金銭債権譲渡による連結除外及びこれに伴う特別損益の発生の影響、「スポーツ事業」を展開する株式会社ジェイスports（以下、「JS社」といいます。）、「Web事業」を展開する株式会社フクロウ（以下、「FK社」といいます。）及び持株会社である当社の最近の業績動向、並びに「不動産事業」を展開する株式会社シナジー・コンサルティング（以下、「SC社」といいます。）の事業拡大を踏まえ、業績予想を修正するものであります。

### <売上高>

売上高は1,495百万円（前回予想値比780百万円増（109.1%増））を見込んでおります。

#### （住宅事業）

本日付「子会社株式の譲渡（子会社の異動）、債権譲渡及び特別損益の発生並びに資金使途の変更に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、連結子会社でありますIZ社の全株式を譲渡することを決議するとともに、当社がイザット社に対して有する金銭債権を併せて譲渡することを決議いたしました。これにより、当第2四半期をもってIZ社は当社グループの連結の範囲から除外され、住宅事業の損益の取り込みがなくなるため、当初業績予想に織り込んでいた当第3四半期以降の住宅事業の売上高が113百万円減少いたします。

#### （スポーツ事業及びWeb事業）

最近の業績動向を踏まえ、今回業績予想の修正において、「スポーツ事業」の客数減少による売上高の減少12百万円、「Web事業」のプロジェクト数の減少による売上高の減少35百万円を織り込んでおります。

#### （不動産事業）

平成28年4月28日付「子会社による販売用不動産の取得に関するお知らせ」及び平成28年6月15日付「子会社による販売用不動産の取得に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、SC社では今後の収益拡大に向けて、不動産販売事業を拡大してまいります。当第2四半期以降、大型案件2件の売却を予定しており、これによる、「不動産事業」の売上高の増加939百万円を織り込んでおります。

### <営業利益及び経常利益>

営業利益は103百万円（前回予想値比6百万円増（6.2%増））、経常利益は97百万円（前回予想値比3百万円増（3.2%増））を見込んでおります。

持ち株会社である当社の管理部門コストの増加により、営業損益を23百万円下方修正するものの、IZ社の連結除外による営業損失取込みの減少17百万円、SC社の増収に伴う増益による影響7百万円を上方修正することにより、連結ベースの営業利益は6百万円の増加、経常利益は3百万円の増加を見込んでおります。

### <親会社株主に帰属する当期純利益>

親会社株主に帰属する当期純利益は 111 百万円（前回予想値比 17 百万円増（18.1%増））を見込んでおります。

本日付「子会社株式の譲渡（子会社の異動）、債権譲渡及び特別損益の発生並びに資金使途の変更に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、連結子会社であります IZ 社の全株式を譲渡することを決議するとともに、当社がイザット社に対して有する金銭債権を併せて譲渡することを決議いたしました。

これに伴い、当第 2 四半期の当社連結決算において、子会社株式売却益 115 百万円を特別利益に計上するとともに、貸倒引当金繰入額 101 百万円を特別損失に計上する見込みであり、当該特別損益を今回の業績予想の修正に織り込んでおります。

### 3. 当社グループの今後の経営戦略

前述のとおり、当社は、「住宅事業」を展開する IZ 社の全株式を譲渡することにより、平成 28 年 12 月期第 2 四半期末をもって、「住宅事業」から撤退することとなります。

今後は、「不動産事業」、「Web 事業」、「スポーツ事業」の 3 事業を展開してまいります。その中でも「不動産事業」及び「Web 事業」を主力事業として位置付け、今後の収益拡大を図ってまいります。

不動産事業においては、提案型の不動産売買仲介業務及びコンサルティング業務に関して、人員を補強し案件数、成約数の増加を図るとともに、不動産の仕入・販売等より利益率の高い事業投資を実現してまいります。

Web 事業では、「プロダクションサービス」（ブランディング推進）として、顧客の商品及びサービスのブランディングサイトの企画・制作のために、軸となる Web 戦略を立案し、プロモーション展開、コンテンツ制作、モバイル対策等を行い、必要に応じてシステム開発なども加えた包括的なサービスを提供いたします。また、オペレーションサービス（セールス促進）として、顧客の Web サイトを活用した販売促進のサポート業務として、技術面のサポート、費用対効果の測定、改善改良の提案、マーケティング等のサービスを提供いたします。

スポーツ事業においては、プロサッカー選手によるスクール会員の増員や、各種イベントの開催を増加させることによる来店客数の増加を重点施策として図ってまいります。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以 上